タイトル	マルトリートメント / これって毒親？虐待のアレコレ / みんなの中の承認欲求 / 子どもに愛されるキャラクター / ストレスってなんだろう / めくって学ぼう虐待とDV / 愛着障害について / 給食の完食指導を考えてみよう / 不安障害について
作成者(著者)	山脇寛子
作成者(ヨミ)	ヤマワキ、ヒロコ
出版社・団体	下関短期大学保育学科
出版社・団体(ヨミ)	シモノセキタンキダイガクホイクガッカ
Nii資料タイプ(区分)	研究報告書(教育実践記録等)
ISSN	—
掲載誌名	第38回　下関短期大学保育学科　創作発表会研究発表要旨集
巻・号	—
開始ページ	10
終了ページ	11
発行日	2025/12/13

下関短期大学
〒750-8508　山口県下関市桜山町1-1

Copyright©2025 Shimonoseki Junior College All rights Reserved.

研究１「マルトリートメント」　研究２「これって毒親？虐待のアレコレ」研究３「みんなの中の承認欲求」研究４「子どもに愛されるキャラクター」研究５「ストレスってなんだろう」　研究６「めくって学ぼう虐待と DV」研究７「愛着障害について」　　研究８「給食の完食指導を考えてみよう」研究９「不安障害について」

下関短期大学　保育学科　（担当教員：山脇　寛子）

心理研究コース　２年　神谷美輝　釘宮洋子　清水美保子　八代さくら　滝口梓
１年　赤木琴音　阿部千之　荒巻みか　市竹由乃　髙田千聖　竹由拓海
田村夏実　廣田美佑　政野大

1. 本コースの研究活動について

心理研究コース(以下、「本コース」と記す。)は、子どもや子どもに関わる人間の心理に関する内容について研究を行うことを主としたコースである。今年度、本コースには１４名の学生が所属している。学生は各々、興味関心のあるものが異なる上、このコース活動に関連する科目となる「保育実践演習」と「児童文化」の軸である主体性を重視するという点から、個人もしくはグループで１つのテーマに絞り込み、研究を行うこととした。

学生は決定したテーマについて、書籍やインターネットを利用し、研究を進めた。調べた内容は、時折他のメンバーやコース担当者に対し発表し、客観的な意見や方向性の確認をする機会を設けた今回絞り込まれた研究テーマは計９つであり、以下、各テーマについて簡単ではあるがまとめていく。

2-1　研究1「マルトリートメント」 荒巻みか

マルトリートメント（Maltreatment）は、「大人の子どもへの不適切なかかわり」や「避けたいかかわり」と訳されることが多い。虐待よりも更に広い範囲で子どもの健全な発育を妨げる行為のことを指す概念である。マルトリートメントと虐待とは線引きの曖昧な部分も多くあり、日常生活の中での一場面もよく見ればマルトリートメントであるものも多い。「もしかして」と思うことや「自分の行動はまさにこれだ…」と思うことがあっても不思議ではない。その気付きや子どもへの思いを大切にし、子どもとの心地よいかかわりを積み重ねてもらうためにも、本研究ではそれらの気付きの後に必要な情報を併せてまとめている。

2－2　研究２　「これって毒親？虐待のアレコレ」　赤木琴音

近年耳にするようになった「毒親」は、子どもの心身に悪影響を及ぼす言動を繰り返す親を指す言葉である。過度な干渉や保護、暴力的な言動等、マルトリートメントや虐待と関連付けてよく語られるものである。本研究では、研究１と同様、自身の毒親要素への気付きのある人に向けた学生なりのメッセージも含め、まとめている。(写真 1)



写真１　制作風景①



写真２　制作風景②

2-3　研究3　「みんなの中の承認欲求」 阿部千之、髙田千聖

SNS の普及と共に、心理学の分野で注目されることが増えたのが「承認欲求」である。「他者から認められたい」「自分を価値ある存在だと他者から認められたい」という欲求である。現代では、SNS の普及に伴い、他者からの評価や承認を目に見える形で即時に把握できるようになった。それにより強化されているとされるのが承認欲求である。本研究は、この承認欲求の基本的な構造や承認欲求のあらわれとされる行動について紹介している。(写真 2)

2-4　研究4　「子どもに愛されるキャラクター」 市竹由乃、田村夏実、廣田美佑

本研究は、子どもたちを惹きつけるキャラクター達が持つ要素についてまとめたものである。様々なキャラクターの言動が子どもたちへ印象付けるイメージや与えるメッセージ性について、

まとめている。また、このグループはポスター内のキャラクターを全て画用紙等を用いて制作することにも力を入れた。(写真 3)



写真 3　制作風景③

2-5　研究5　「ストレスってなんだろう」 竹由拓海、政野大輝

誰の心身にも影響し得るストレスについての研究である。ストレスの原因となるストレッサーの種類やストレスの解消法、ストレスを悪化させるとされるものなどについてまとめている。ストレスの影響の一つとしてよく見られる「肩こり」については、ストレス解消にもなるストレッチを紹介している。(写真 4)



写真 4　制作風景④

2-6　研究6「めくって学ぼう虐待と DV」 神谷美輝、八代さくら

このグループは、昨年度に引き続き同じテーマについての研究となるが、今回は子どもを対象とした内容となっている。紙をめくっていくという動作を促しながら内容への興味を引く手法を用いた。

2-7　研究7「愛着障害について」 滝口梓

対人関係における適切な距離感を掴むことが難しい「愛着障害」について、基礎的な情報も含め、まとめた研究である。愛着障害は幼少期に養育者との間に適切な愛着関係を築けなかったことが原因とされ、教育や社会的養護の領域において学びを深めておくべき要素の一つとされる。

2-8　研究8「給食の完食指導を考えてみよう」 釘宮洋子

教育・保育現場における給食時の完食指導についての研究である。食への意識や完食指導の姿、完食指導を受けたことによる成長後にあらわれた影響についての体験談などの内容をまとめている。

2-9　研究9「不安障害について」 清水美保子

対人関係を含む日常生活のあらゆる場面で不安がつきまとう「不安障害」についての研究である。基礎的な情報も含め、まとめた研究である。多方向への不安や先取り不安など、日常を通して不安の高まりを感じるこの精神疾患について、日常的な大変さや苦悩についても触れながらまとめている。

3．まとめ

どのグループも、本学保育学科における「保育実践演習」と「児童文化」の科目において重要視される「主体的に学ぶ」という姿勢を常に見せていた。また、学びが進むにつれ、出てくる疑問も深いものとなっているのを感じるようになった。

ただ、形としてポスターにまとめるとなった際、内容のボリュームや話題のバランス等を見る側にわかりやすく調整するという段階で悩む姿が多く見受けられた。自身の頭の中の知識や理解を他者に伝えるとなった際、表現方法の適切さや直感的な理解を促す図表やイラストの活用等、様々な視点やアイディアが必要であることを実感したようである。

学生それぞれの興味関心を十分に掘り下げられたか、そのサポートを適切に行えたかという部分において、本発表会終了後に振り返りを行い、次年度以降のコース活動の在り方を検討していきたい。

［参考文献等］
・一般社団法人　日本家族計画協会「防ごう！マルトリートメント」
https://marutori.jp/
・内閣府男女共同参画局「特集　ＤＶ（ドメスティック・バイオレンス）と児童虐待 ―ＤＶは子どもの心も壊すもの―」
https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/e-vaw/dv/index.html
・一般社団法人　日本精神医学研究センター
https://japan-seishin-research.org/symptoms/20
・キャサリン・コーリン ほか著　小須田 健 訳　池田 健 用語監修「心理学大図鑑」(三省堂)